



市長からの手紙

33 東京オリンピック

2020年に東京でオリンピック・パラリンピックが開かれることが決まりました。その中で、東京オリンピックのゴルフ競技は川越市にある霞ヶ関カンツリー倶楽部で行われる予定です。市内でオリンピック競技が行われるのは初めてのことで、今後も当分の間、少なくとも半世紀くらいは可能性がありません。

オリンピック競技の市内開催は、川越市にとって大変貴重なチャンスです。市では、すでに情報収集のためにオリンピック準備担当理事を設置し、平成26年度から課相当の部署を設けオリンピック開催の準備を進める予定です。会場となる霞ヶ関カンツリー倶楽部へのアクセス道路の整備やギャラリー（観客）の送迎手段等を充実させることが、当然必要になります。

また、世界中から川越に人が集まってくることを考えると、この機会に世界に向かって川越を発信し、世界中から観光客を呼び込むことも必要です。そのために、外国からのお客様をおもてなしする人が、一定程度の外国語が話せるようになるのが望ましいと考えています。市の職員は、全員がある程度話せることが理想的ですが、外国人からの問い合わせに答えたり、道や観光スポットを尋ねられた時に教えられくらいの会話力を、できるだけ多くの職員が身に付けることが必要でしょう。また、商店街の皆様にも、外国人がお店に来た時に、商品やサービスの説明ができるくらいの会話力を身に付けていただけたらありがたいと思います。

昭和39年に行われた東京オリンピックの時、私は中学2年生でした。学校の授業の一環として、大宮にあるサッカー場にバスを仕立てて、サッカーの予選を見学に行った記憶がありません。50年後に、競技が開催される会場市の立場で準備を考えるなど、まったく予想していなかったことです。

明るい、希望の持てる事業なので、市民の皆様と協力して、しっかり準備を進めたいと考えています。

川越市長 川合善明



今回紹介するのは「七福神めぐりコース」。七福神の縁日は元旦から7日と毎月1日です。最初に訪れるのは、小江戸川越七福神の一番霊場、毘沙門天を祭る妙善寺です。境内には、大事そうに3本のイモを抱いた「川越さつまいも地蔵尊」があり、毎年10月13日のサツマイモの日には、イモへの感謝の気持ちを奉納する「いもの日まつり（いも供養）」が行われます。次に訪れる天然寺は、富財・子宝などで有名な寿老人を祭っています。本尊の大日如来は平安時代のもと言われ、市の指定文化財になっています。コース中盤では、恵比須天を祭る成田山川越別院を訪れます。ここは、「川越のお不動さま」として親しまれ、毎月28日に境内で開催される蚤の市では、着物や古銭など多くの品が並び、たくさんの人でにぎわいます。成田山を出た後は、蔵造りの町並みや菓子屋横丁で買い物を楽しみながら、弁財天が祭られている妙昌寺を訪ねます。弁財天は、七福神唯一の女神で、芸術や財福などで有名です。また、弁天堂の外側の壁には、琵琶を奏する優美な天女の姿などを見ることができま

す。七福神のある各寺には、記念スタンプが用意されています。お正月はスタンプを集めて、川越の七福神めぐりを楽しんでみてはいかがでしょうか。

小江戸川越めぐり90観光コース 8

観光課 224・5940

みんなのでええよう 大切な人

高齢者いきがい課 224-5809

トキノ家の認知症介護奮闘記その9
 相談会や家族介護教室に参加し、認知症の介護について理解を深めていったヒロシさん。そんなある日、地域包括支援センターのスズキさんから認知症の人やその家族が自由に参加できる「オレンジカフェ」への参加を勧められました。ヒロシさんは、ヤスヨさんと一緒にみることにしました。クリスマス飾りが施された「オレンジカフェ」は、明るい雰囲気です。



飲物代100円を支払ったあとは、ゆつたりと自由な時間を過ごせます。カフェには、近所の人、民生委員などいろいろな人たちが集まっています。1人の人がヤスヨさんに声をかけ、楽しそうに話しを始めた。その様子を見ていたヒロシさんに、夫婦で来ていた男性の介護者が声をかけました。「ここ

なら、安心して認知症の妻を連れて来られるんですよ。私もいい気分転換ができますし」。2人は、飲み物を飲みながら、介護や趣味のことを話しました。

帰り際、「楽しかったわね」とヤスヨさん。楽しく、温かいカフェタイムを過ごせました。「オレンジカフェ」は、市内4か所の地域包括支援センターで開催しています。詳しくはお尋ねください。

家庭教育のススメ

いきいき子育て 親子ち◎

地域教育支援課

224-6086

安易に物を買って与え過ぎると、子どもは欲しい物を手に入れるための努力や我慢、工夫などができなくなります。今回は、買い物とお小遣いについて考えていきます。

親子で買い物に出かけましょう。例えば夕食の献立を子どもと考えると、その材料を一緒に買いに行きましょう。お金を払い、おつりをもろうと体験を子ども自身にさせましょう

いろいろな商品を見て、買うものを選ぶ体験を子どもにさせてみましょう。自分の意思で商品を選ぶことは楽しい経験になります

商品を買うときはお金を払う。お金を払わず品物を持って行ってしまつことは犯罪であること。買い物では、その一番大



事な約束を教えましょう

お小遣いについて

お小遣いを渡すときは、「大事に使おうね」とひと声添えましょう。また、どんな風に使ったのか子どもの話を聞くなど親子の会話を大切にしましょう。子どもは、こうした中でお金の大切さを学んでいきます

すぐに使い切ってしまう、追加要求するようになったときには、使い方についてじっくり話し合ひましょう

お小遣い帳を使いましょう。お金の管理に役立ちます

金額は、家庭でよく話し合ひ決めましょう。与えられた金額の中でやりくりする工夫を学ぶことは、将来の家計の管理につながります

親は、日常の行動を通して、「お金の使い方」を子どもに教えていきます。お小遣いの使い方を教えることは、我慢や計画性など生活に必要な力を育てることにつながります。

ごみ処理とぴくす

防ごう！カセットボンベ、スプレー缶の事故

資源循環推進課 239-6267

食卓で囲むお鍋が美味しい季節になりました。この時期、卓上カセットコンロで使用したカセットボンベを排出する機会が多くなるといいます。

市では、カセットボンベやスプレー缶を排出する際に



は、必ず中身を使い切り、缶に穴を開けるようお願いしています。しかし、この作業を屋内で行うと、空気より重いガスが留まって、暖房器具やコンロ、

タバコの火などがガスに引火することがあります。作業は必ず風通しの良い屋外で、周囲に火気がないことを確認した上で行ってください。

また、可燃性のガスが中に残ったまま排出すると、収集車両や清掃センターでの爆発・火災など重大な事故を引き起こす危険があります。

正しい排出方法を守り、カセットボンベやスプレー缶を安全に処理できるよう、ご協力をお願いします。

*排出は「びん・かん」の収集日に集積所に出してください。